

# 「科学雑誌で学ぶ日本語」作文練習 7

木下大輔

2021 年 10 月 27 日

## 1 第一問

「ダイクストラ法は目的地よりも近い場所にある頂点をすべて探索するので、目的地が遠くになればなるほど、たくさんのデータを読み込み、計算をする必要がでてくるのだ。」という文がありました。「…れば…ほど…」を含む文を作りなさい。

- 例:
  - 「すればするほど」
  - 「あればあるほど」
  - 「学べば学ぶほど」
  - 「遊べば遊ぶほど」
  - 「練習すればするほど」
  - 「旅行すればするほど」

## 2 第二問

「この距離はもう調べてあるので、その数をくらべることでどの頂点が近いのかがすぐにわかる。」という文がありました。「…もう…」を含む文を作りなさい。

## 3 第三問

「a まで最短距離で行く経路は 4 を通る道の一つしかない。」という文がありました。「…しかない」、または、「…しか…ない」を含む文を作りなさい。

- 例:
  - 「しか選べない」
  - 「しか使えない」

## 4 第四問

「アルゴリズムの考え方は、日常生活においても、失敗しにくい料理法や、作業の効率化といったことを考えるときに、とても役に立つ概念だといえる。」という文がありました。「…にくい…」を含む文を作りなさい。

## 5 第五問

「このようなときこそ、アルゴリズムの出番だ。」という文がありました。「…こそ…」を含む文を作りなさい。